

議会改革調査特別委員より

議会に関するアンケートのお願い

議会改革調査特別委員長 太田 修

議会は、村民の代表として、村政への政策提言や予算執行状況のチェックなどの活動を行っています。村民の皆さまのご意見を十分に反映する方法や、求められる議会のあり方などを検討するために、平成26年第3回定例会で議会改革調査特別委員会を設置しました。

委員会では、議会基本条例の検討、運営や情報の発信方法などの研究を行ってきました。議員による内部検証だけでは、片手落ちになる可能性も否めず、今回、村民の皆さまにアンケート調査を行うことにしました。議会を運営するにあたって、改革が必要と思われる部分などについて、ご意見をお伺いするものです。

アンケートは、5月下旬に無作為抽出で発送し、6月を用途に回収の予定です。なるべく多くの方に回答いただけるような方法も検討中で、議会のホームページでお知らせしていきます。結果は、9月定例会の議会だよりやホームページで公開します。

よりよい議会改革を目指したいと考えていますので、皆さまのご協力をよろしくお願いたします。

産業経済委員会 視察報告

「村内スキー場の視察」

期日：2月26日

長野県神城断層地震の影響や、インバウンドの状況など、スキー客の入り込み状況、意見交換も含めたスキー場視察を行いました。

震災の影響は、風評被害に対しての県や村の素早い対策もあったためか、あまり深刻な影響はないということでした。インバウンドの入り込み状況は、どのスキー場でも明確に増加しているということでした。また、今年度は、特に深刻な労働者不足があるということでした。

課題としては、村内宿泊施設数の減少、スキー場を結ぶ村内2次交通の整備、チケットの共通化（改札機の共通化）の検討などが多くのスキー場から出されました。今後に向けて、お客さま目線からの整備や改善が大事であり、議会としても提言していきたいと思えます。

「北陸新幹線金沢延伸に関わる視察」

期日：4月17日

3月の北陸新幹線の金沢延伸開業を受けて、飯山市や金沢市の観光に関しての先進地視察をおこないました。

飯山市観光局は、白馬村観光局を見本として設立されましたが、構成や自主収益事業部門などについては大きく異なっています。北陸新幹線開業で新しくなった飯山駅は、周辺施設整備も計画されており、明るい駅舎には、局が経営するアウトドア関係のショップやカフェもあり、今後が注目されます。

また、金沢市では、観光のコンセプトづくりや地域との連携、広域観光やインバウンド対応、住民ボランティアの活躍と育成、国際コンベンション都市への推進体制などを伺いました。延伸により観光客の入り込み状況は、数倍の状態が続いているということでした。

ともに、延伸を契機とした能動的で意欲的な姿勢が印象的でした。参考にしたいと思えます。



金沢駅 鼓門